

1971

7月号

No. 80

広報

かいわら



杉山貢新村長は6月16日朝、役職員が拍手で出迎えるなかをにこやかに初登庁、早速会議室に全職員を集め、「住民の福祉増進を主眼に施政をすすめてゆく、職員も誠意と情熱もって仕事にとりくんで欲しい」と、あいさつ、杉山村長のスタートは切られた。

心をあわせ 明るい社会を

犯罪をなくして、明るい社会を築くことは、わたくしたちがひとしく願うところですが、最近の青少年非行、犯罪状況をみると、ここ数年減少の傾向にあったけれど、昨年は中学生などの年少者を中心にして、前年より約一〇%も増加し、その内容もシンナー遊びなどじ身の健全の発達に有害なものや、恐喝、強盗、放火など粗暴、悪質なものが多くその情勢は楽観を許さないものがあります。

このような状況のもとで、犯罪の防止と、非行や罪を犯した青少年の更正をはかることは緊急を要し、関係機関の協力だけでなく地域住民がこの問題に深い关心と理解をもち、環境浄化活動などに積極的に参加しこそ十分な効果も期待できるのです。

七月は「社会を明るくする運動」の月で、今年は二十一回目をむかえました。この運動が十分な成果をあげることのできるよう、ご協力ををお願いいたします。

(河内村社会を明るくする運動実施委員会)

住民福祉を基本に

村長所信表明



村長 杉山 香

この辺の開拓進歩においては、よく理解して頂いた。またかっこいい支援團より当選させていただきましたことを、心からあらためてお礼申しあげます。

私は、源清田當時より各種団体の役員として微力をつくしてまいりましたが、三十八年六月から助役に就任し、本村執行部の一部として村政に参画してまいりました。

その間、皆さま方のあたたかいい協力ご指導を賜りましたことを深く感謝いたします。私が今回、絶大な信頼をいただきましたことはこれら過去における活動とは、されども方間に認められただけなことをからと信じます。

すなわち、村民の皆さまの声を聞き、村民の利益を第一

に、未だ立場になつて行動するものと思つてゐます。この信念を村長として發揮してはいへば、そのうらやましい立場で、この問題を解決する手段を確立するにあたつたといふべきです。

現われと信じて疑ひません。

また、地方自治の精神とは、住民の福祉を図ることに主眼を置いて、それがおかるべきもの、といふべきものであります。この精神に基づいて、村上の皆さまの生活が、層向上し、ますよう、微力ながら全力でつくしたいと思います。

しかしながら、財源のうち、づけが伴なわなければ机上の空論に終つてしまつます。

三割自治の実態ではありますけれども、可能な限りの財源をもつて貰いたいと思います。

村政を担当する立場として、一言で申すならば、住民福祉

優先の基本方針をもって臨む
覚悟でございますが、その実現のためには次にのべるよう
な施策を行っていくなければ
ならぬと思っております。
先ず第一に河内村の総合開発であります。一九七〇年代は日本経済の高度成長の中で、
村民のゆまぬ勤勉と努力、そして協和によって、安定した豊かな村を建設する重要な
な時期であります。

など多くの努力が必要であります。米の生産調整は国家的問題であり、ひとり河内村のみで解決できるものでなく、べきみの理解の上に自ら協力して、生産性の高い近代農業の育成をめざし、土地基盤整備事業などを総合農政を積極的に展開して行かなければなりません。

次に教育振興についてです。が、教育の目的は、人間形成が、教育振興についてです。

農道の幹線の舗装を実施してゆく方針であり、また、県道においても未完成な所がありますので、早急に実現する努力を惜しまないつもりであります。

さて、本村の現況を眺めるとき、教育施設や道路整備など外観は整つたものと思われますが、これからは老人の医療費免除、母子家庭の保護対策などを、愛情ある保護対策を実施してゆく方針であり、また、県道においても未完成な所がありますので、早急に実現する努力を惜しまないつもりであります。

この辺の説明においては、理解が難しかったので、お手元に持参しておきました。それで、お話をうながすと、おおむね理解できました。それで、お話をうながすと、おおむね理解できました。

したことに由るのもと思ひます。この信念を村長として發ねいてはしい、という要望の現われと信じて疑ひません。

また、地方自治の精神とは、住民の福祉を図ることに主眼があり、認識についても決して人後でおちるものではありません。

この精神に基づいて、村同士の皆さまの生活が一層向上しますよう、微力ながら全力をつくしたいと思います。

首都圏近郊農村としての段階開発につては、先に開闢計画を策定し、現在進行中であります。しかし、高度経済社会の進展と、日本経済の国際化など、農業をとりまく諸情勢はますますきびしく、加えて米生産調整など有史以来の転換期に直面しています。

この激動のなかにおける開発計画の策定は、周辺地域の拠点開発が促進されつある現状のなかで、あらゆる角度から再検討を加え、純農村地帯

と個人創意を生きかしつけ、個人が社会に貢献する為の能力を養なさいことにあります。

講じ、村民一人一人が幸せになるために村内すみすみまで陽の昇るようなあたたかい手をさしのべ、細かい問題にも手を広げ、村民の声を聞きながら福祉の向上を図らなければなりません。

水は水道問題ですが、本村は水の豊富な地域でありながら良質の水に困まれり、地下水の開発には苦労させられています。一日も早く解決しなければならない重要な問題なので真正面から取りくん

き道を、そして、あやまりのない百億の大計を樹立しなければなりません。

第二に農政問題であります。が、本村が近代農村として發展して行くためには、時代に即応した農業の健全な發展と構造改善による農業の近代化

教育に必要な教員、教材の整備に、十分な配慮が必要であります。

はよく考えておられます。以上、私の所信を申しあげました。が、これも皆さまの協力をご支援がなければ成り得るものではありません。明るく豊かな市政の実現のため、一層のこ理解とご指導をお願いいたしまして就任のご挨拶をいたします。

国民年金支給はじまる

福祉年金は大巾に改善



第二回定期例会から

一般会計補正予算

総額四億二千八百三十九万円に

村長改選後初の定期例会が六月三十日に開かれ、一般会計補正予算など九議案が審議され原案どおり可決されました。

おもなものをお知らせします。

一般会計の補正予算は、一〇七七円追加、三四、一七

八、六二六円を追加、総額

で四二八、三九〇千円になり

ました。

おもなものは、

中学校費で二三、四二六千

円を追加し二六、二四四千円

に、小学校費で六六六千円を

追加四七、六〇四千円に、消

防費四〇〇千円追加一二、五

四一千円に、農林水産費一

〇〇〇千円、織越金三、五五

九、七千円に、清掃費一、四九二千

円追加一、七一五千円に、

有線放送電話使用料一、四

二五五円、国庫補助金二〇

三、三三三千円になりました。

以上追加された支出に見合

う収入の内訳は、

三三〇米の農道が廃止されま

した。

△工場敷地内になるため、

二一、〇一九米が村道として

認定されました。

△萩原福守氏(68才)が選任

されました。

△村内の十五の路線、全長

一、〇一九米が村道として

認定されました。

△谷建設と結ばれました。

△監査委員に藤井田の秋山

茂氏(58才)が選任されました。

○千円などです。
他に議決されたものは、

△長竿小学校危険校改造工事及び旧校舎移転工事の請負契約が、一千八百万円で細

谷建設と結ばれました。

△萩原福守氏(68才)が選任されました。

△固定資産評価委員に手栗

の萩原福守氏(68才)が選任されました。

△村内の十五の路線、全長

一、〇一九米が村道として

認定されました。

△工場敷地内になるため、

三三〇米の農道が廃止されま

した。

△小更さん(46才)が当選されました。

△小更さんは長竿中上の出身で、P、T、A役員

交通安全協会役員などを

やつておられた方、議員

生活はじめですが、

期待されています。

△身体不自由高令者の年支

給が六十五才から六十才に

改定されます。

△公務扶助料と福祉手金の

改定され、八〇〇円

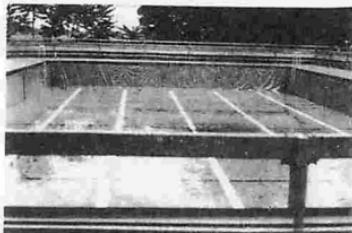
いづれも今年十一月から実

施されます。

△公務扶助料と福祉手金の

<

塵芥処理ははじまる



竜ヶ崎市、牛久町、利根町
内村が共同で、広域行政の
事業として発足した塵芥処理
場が六月十一日に完成し、七
月八日から操業をはじめました。
いま、村ではゴミ回収の
希望をとりまとめていますが
料金、巡回の日時は次のとお
りです。

○ 料金

一世帯につき月額百円（た
だし、大量排出所、事業所は
別に定める額）
○ 集取の日割は下表のよう
に周一圈て、午前八時までに
持参してください。

曜日	場所
木	十三間戸、平川、下金、中金、上金
金	排水機、流作、田川、片巻、和銅谷、下加納
土	大境、荒地、愛宕町、下組、入谷、小詰、下町歩、 中郷、上庄布川、上組
月	十里、布縫、平三郎、宮彌、猿島、高、保村、遠下 新橋、古通、堤
火	中曾根、広田、小巻、三ツ家、堀割、淨玄、古河林 羽子瀬、手栗、内野
水	角寺、小林、生嶋、大鏡、竜丁、藤藏、万年、堤向 関場、幸谷、西、宿、中道、丸田、砂場、早井、四 ツ谷、北河原

各 小 学 校 に

プール完成

生板小、長竿
小、金沢小
建設中の簡易プ
ールが完成しま
した。

工費は三ヶ所
で九七八万円、
国庫補助はなく
全額村費（七割
の起債申請中）
です。

これで源清田
小を除く各小中
学校にプールが
設置された。

保村上部落の田中唯助さん
(80) 才は、毎日なにもしな
いで過すのは無意味だ、と遠
下、高部落など四つの共同墓
地と二つの神社、七つの個人
墓地を三日目にこに巡回した。
五年間も続けて清掃作業を奉
仕しております。

また、故人の改命をメモし
清掃のあと念仏を唱えるなど
私の供養につとめ、地域住民
本部へおたづね下さい。

警察官募集

年度の警察官
募集について
昭和四十六年九月一日から
十月十六日まで。

十八才未満の男子
○ 待遇（初任給）
○ 募集人員
一〇〇名

○ 受験資格
高校卒 三三、八〇〇円
短大卒 三六、二〇〇円
大学卒 三九、五〇〇円
このほか、諸手当、被服等
以上の学力を
有するもので
本部へおたづね下さい。

第25回県体、稻敷地方大会

総合優勝を飾る

興民の体育向
上と健康をたた
える祭典、県民
体育大会稻敷地
方大会は第二十

回を盛りあげて開催されました。

なお、この大会には、61才
になる梁忍得（江戸崎）選手

も一万米競走に出場、堂々三位
位に入賞、健脚ぶりを示しました。

本村の成績は、

本村の統合中学予定地など三
会場で、陸上競技、各種球技
柔術弓道など二十一種目におわ
たり技を競い、地元である本
村は健闘よく総合優勝を飾り

ました。

なお、この大会には、61才
になる梁忍得（江戸崎）選手

も一万米競走に出場、堂々三位
位に入賞、健脚ぶりを示しました。

本村の成績は、

本村の統合中学予定地など三
会場で、陸上競技、各種球技
柔術弓道など二十一種目におわ
たり技を競い、地元である本
村は健闘よく総合優勝を飾り

ました。

なお、この大会には、61才
になる梁忍得（江戸崎）選手

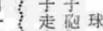
も一万米競走に出場、堂々三位
位に入賞、健脚ぶりを示しました。



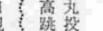
野球
卓球
ママさんバレー
柔道
優勝
優勝
勝利



剣道
相撲
庭球
男子砲丸投
伊藤勝一位



女子走高跳
石橋久美子二位



相撲
剣道
庭球
男子砲丸投
伊藤勝一位

三位
三位

